

子どもたちの瞳が輝く時

青空保育たけの子
代表 辺見妙子



NPO法人

青空保育たけの子



辺見妙子（旧姓遠藤）

1960年12月 福島県福島市に生まれる
病気がちの弱い子

1965年3月 父親が他界、母子家庭になる
しつめに厳しい母

「人と違ったことをしなさい、同じことをしていてもしかたがない」

「人には一番いいものを贈る」

1980年5月 キリスト教会に改宗

2002年6月 福島コダニー合唱団に入団

2008年10月 保育士資格取得

2009年4月 青空保育たけの子創立

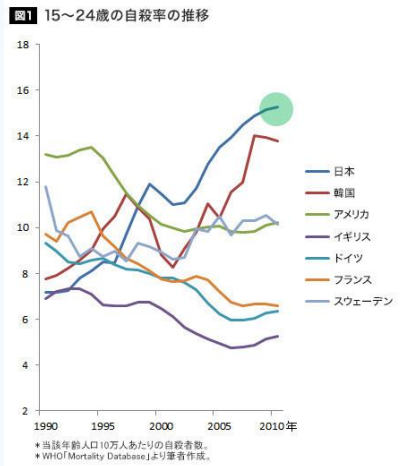
2011年3月 東日本大震災発災

2011年10月 サテライト保育開始



● 設立のきっかけ

経済的には豊かな時代になった日本だが、子どもたちが将来に夢をもてないまま大人になり、世界的にも青少年の自死が多い国であることに疑問を持った。



子ども時代に思いっきり遊ぶことで変わるのではないかと思い、「**青空保育たけの子**」を創設し、2019年で**10周年**を迎えた。

● 団体の目的

子どもも大人も共に成長し、自分で考え、自分で発言し、自分で行動できる子どもを育てることを目的としている。



私たちの思い、考え

◆地域の課題

課題(1)

子どもたちの**AKB**(あぶない・きたない・ばかばかしい)な**遊びを保障**する環境(自然・人的・社会的)が整っていない。



●目指す地域の姿

「崖の上のポニョ」の舞台になったような、子どもの居場所と大人の居場所が隣り合わせで、自然豊かな環境でお互いに刺激し合える地域。

課題(2)

原発事故そしてコロナと、子どもたちが特に**自然の中で遊ぶこと**が**困難**になって免疫力も落ち、居場所がない。



活動紹介



野外保育

震災後、要望に応じて事業拡大



森のムッレ教室



冒険遊び場



カフェ



食農教室



空と土の交流広場



民泊

民泊・カフェを除く事業は原発事故を起こした大人の責任としてすべて福島⇔米沢間無料送迎

10年継続してきた力は何か

困難にどう立ち向かうか

レジリエンス

「わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それだけでなく、主は何の命令も人の子らにくだされないことを承知しているからです。」「神から出るものはいつも善を行うように誘い、促す。」&母の教え

子どもたちの変化



2016年5月
5歳女兒



2016年11月
6歳女兒

卒園児の保護者から

たけの子に通う前の娘はハエがうでに止まっても泣いていたのに、今ではカチヨロのオスとメスを捕まえて卵を孵化させ、育てるくらいになりました。

息子は初め、木に登ることすら助けを求めていましたが、「お母さん、たけの子では助けないんです。」と言われて、私には衝撃でした。考えてみたら、昔は大人が付いて遊ぶことはなく、大きい子を見て真似したり、まだできなくて悔しくなったり、憧れたりという経験ができました。たけの子ではそういった事を大切にしてくれています。



失敗の経験が大事

これからの取り組み

こども達が自分で作ることができる昔ながらの
食事づくりと一緒に⇒ 《新しいこども食堂》づくり
コロナ禍の中、雑穀中心の日本食によってこどもたちの免
疫力をあげたい！



つぶつぶ未来食の給食
2020年10月からスタート！



ウンチが
変わった！！

お母さんたちの願い



今の昔も変わらない

子どもの健康
自由な選び



震災、原発事故により見えてきた問題の本質は何か...

教育



基本的人権とは...

人は

ちがう

かかわる

かわる

夢

夢のある者には希望がある
希望のある者には目標がある
目標のある者には計画がある
計画のある者には行動がある
行動のある者には実績がある
実績のある者には反省がある
反省のある者には進歩がある
進歩のある者には夢がある

夢八訓 吉田貞雄氏

△流通評論家▽